

森林路網設計支援ソフト（FRD）活用研修の概要（R7）

■ 研修の目的

FRDは、航空レーザー計測等で得られた高精度なデータを用いて森林作業道等の線形を自動設計するソフトウェアです。当ソフトを使用することで、線形、踏査や設計業務の効率化が期待できます。本研修では、当ソフトの操作と理解及び静岡県での活用事例を共有し、実務における当ソフトの活用を図るため研修会を開催しました。

■ 研修の概要

開催日：令和7年7月31日（木）から8月1日（金）

会場：岐阜県立森林文化アカデミー情報処理室A及び演習林（美濃市曾代）

講師：森林総合研究所 森林路網研究室長 白澤 紘明 氏

：静岡県賀茂農林事務所森林整備課主査 伊藤 允彦 氏

● 研修内容

- FRDソフト操作実習等（7月31日午前）
- 静岡県におけるFRD活用事例紹介（7月31日午後）
- FRDで計画した線形の現地検討会（8月1日）

■ 研修成果

- FRDソフトの、基本操作方法及び、解析方法の理解が向上しました
- 静岡県の活用事例を紹介したことで活用の可能性が広がりました

■ 今後の課題

-

■ 今後の対応

- 定期的な活用研修の実施
- 壊れにくい作業道を作設するためFRDの活用を広める

■ 研修のようす

操作画面のようす

